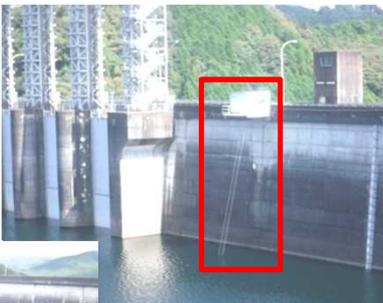


### ダム周辺で実施する水質調査

早明浦ダム水質自動観測装置位置図



(→) ダムサイトの  
水質自動観測装  
置。水深50cm毎に  
水温と濁度を観測  
しています。



(←) 深さのある貯  
水池で使用する採水  
器。任意の深さの水  
を採取することがで  
きます。

**水質、見守ります！**

早明浦ダムでは貯水池（さめうら湖）やダム下流の河川に異常がないか、常に監視を行っています。その中の一つ、水質については、貯水池内の4地点に設置した水質自動観測装置のほか、貯水池上流の1地点、ダム下流の5地点において、10分毎に水温と濁度（水の濁り具合）を観測しています（貯水池内は3時間毎）。さらに毎月一度、採水を行い、詳細な項目について水質分析を実施し、安全な水であることを確認しています（左写真）。

早明浦ダムの水質は、高知県が定めた環境基準値を年間を通じて満たしています。

### ダム施設見学会、大盛況！



**ダム施設見学会以外にも施設見学の申し込みは、随時受け付けています！詳しくは、早明浦ダムのホームページかダム管理所（Tel.0887-82-0485）まで連絡ください。**

8月4日（日）に、ダム施設見学会を開催しました。

今年度は、「土佐れいほく博」開催期間とも重なったことから、例年を上回る約300名の参加があり大盛況でした。

参加者の半数以上の方は高知市内にお住まいの方でしたが、遠くは神奈川県や三重県、鳥取県等からもお越しいただきました。

施設見学会では、パネルや実際にダム堤体内の施設を見学いただきながら、その役割や取り組みの他、ダムからの放流情報があったときの対応なども学んでいただきました。参加者の皆さんからは、「大変勉強になった」、「涼しくて夏のイベントにぴったり」、「普段は入れない場所に入れて楽しかった」等の声をいただきました。

**来年もたくさんのご来訪、お待ちしております。**

◇◇早明浦ダム再生事業推進室より◇◇

再生事業を担当する職員が増えました

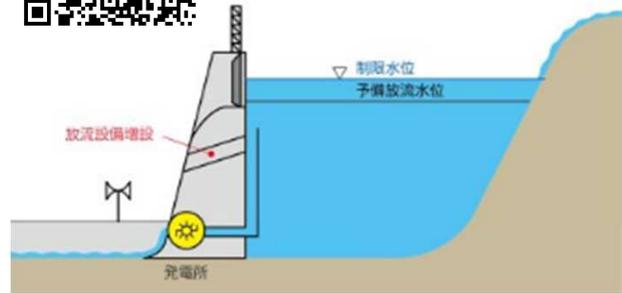
8月1日、早明浦ダム再生事業推進室に新しい職員が配属されました。これで、早明浦ダム再生事業を進める職員は5人になりました。これまでもお知らせしていませんとおり、現在は、環境調査や地質の調査を行いながら、工事に向けた施工計画の検討などを進めています。また、工事に関連して必要となる土地についても、地元の皆様のご協力をいただながら、調査を進めています。引き続き、よろしくお願いたします。



洪水調節を説明するページを作りました

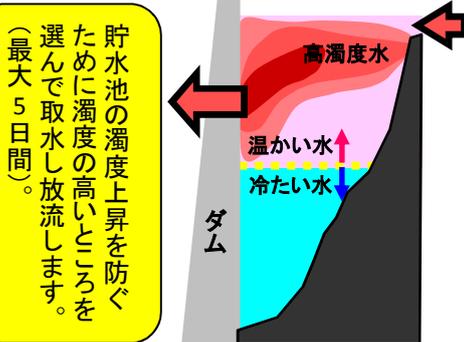
早明浦ダム再生事業についてお知らせするため、ホームページを開発しています。そのホームページに、洪水調節についてアニメーションを使って説明するページ（[https://www.water.go.jp/yoshino/ikedasai/sei/saisei\\_anime.html](https://www.water.go.jp/yoshino/ikedasai/sei/saisei_anime.html)）を作りました。新しい放流管を使った放流方法についても説明しています。是非一度ご覧ください。

QRコード



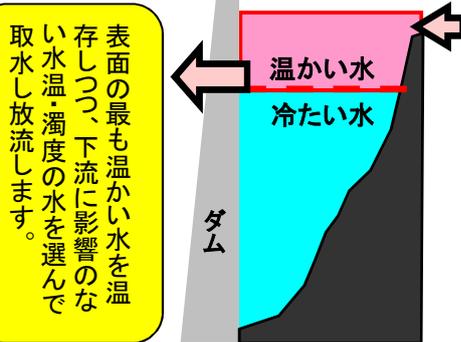
～ 選択取水設備の運用について ～

濁水長期化対策



貯水池の濁度上昇を防ぐために濁度の高いところを選んで取水し放流します。（最大5日間）。

冷水温対策



表面の最も温かい水を温存しつつ、下流に影響のない水温・濁度の水を選んで取水し放流します。

早明浦ダムだより1月号では、早明浦ダムの放流設備のひとつである選択取水設備を紹介しました。今月号では、選択取水設備の具体的な運用方法を紹介いたします。

■冷水温対策

貯水池の水は深さによって水温が大きく異なります。通常は、川の生き物や田畑にちょうどいい水温・濁りの少ない水を選んで放流し、ダム表面の最も温かい水を温存しています。

■濁水長期化対策

大きな出水が発生し、貯水池が濁ったときは、できるだけ出水の間に濁った水を放流し、貯水池内の濁りを軽減します。その後、長期間に渡る濁り水の放流を防ぐため、貯水池の濁度や水温を確認しながら貯水池の表層が早く清んだ水となるように、適切な深さの水を選んで放流する操作を行います。貯水池表層の濁りが低下し、清んだ水となつたときには、通常操作に戻ります。

選択取水設備の運用は、地域の皆様のご理解をいただきながら行っています。引き続き、より良い運用に取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

★★★ダム知識 Information ★★★